

演劇・映画の専門図書館
公益
財団法人

SHOCHIKU OTANI LIBRARY

松竹大谷図書館ニューズレター

■ No. 248(2018年11月) ■

平成 30 年 11 月 9 日発行

クラウドファンディング

【第7弾】世界へ翔んだ、川上音二郎・貞奴の軌跡を未来へ。

プロジェクトが成立いたしました！

ご支援・ご協力ありがとうございました！



9月4日より、クラウドファンディング「Readyfor」にて、平成30年度の図書館事業費及び、世界に一冊しかない貴重な資料「川上音二郎・貞奴一座欧米公演関係資料(通称【音貞アルバム】)」を補修しデジタルアーカイブ化を行うための費用を募集してまいりました【第7弾】世界へ翔んだ、川上音二郎・貞奴の軌跡を未来へ。」プロジェクトが、50日間のスポンサー募集期間を経て10月24日に終了いたしました。

おかげさまでプロジェクト7年目の今年は**215名**の方より、目標額250万円を上回る、**270万8千円**のご支援をいただき、プロジェクトが成立いたしました。温かなご支援を下された皆様、心強い応援コメントを送って下さった皆様、SNSや様々なメディアでご紹介下さった皆様、そしてチラシの配布にご協力下さった皆様、ご支援・ご協力下さいました全ての皆様に、心から感謝申し上げます。

【川上音二郎・貞奴アルバム】は音二郎・貞奴らの書簡など、一次資料がそのまま貼り込まれた世界に一冊しかない貴重な資料ですが、経年劣化が激しく、破損が危惧される状態でした。これまでは資金不足のため、補修を施す事が出来ませんでした。この度プロジェクトが成立し、念願の補修・そしてデジタルアーカイブ化が進められる事となりました。

これからもさらに、資料の整理・保存に努め、資金が無いからとあきらめることなく、皆様からの応援と信頼に応え、当館が所蔵する貴重な資料をより活用していただけるようスタッフ一同、頑張っております。

プロジェクトの詳細は、下記の URL または QR コードをご覧ください
<https://readyfor.jp/projects/ootanitoshokan7>



≫≫ 新着資料案内 新しく受入れた資料をご案内いたします

■ 松竹系 10月 演劇公演資料 ■

○ …… 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『三人吉三白浪』	○			
	『大江山酒呑童子』	○			
	『東山桜荘子 佐倉義民伝』	○		○	○
	『宮島のだんまり』	○			
	『義経千本桜 吉野山』				
新橋演舞場	『助六曲輪初花桜』	○			
	『浪漫活劇 るろうに剣心』			○	○
松竹座 (大阪)	『華果西遊記』	○			
	『二代目市川齊入・三代目市川右團次襲名披露口上』			○	○
	『神明恵和合取組 め組の喧嘩』	○			
	『玉屋清七 團十郎花火』	○			
	『通し狂言 雙生隅田川』	○			
御園座	『義経千本桜 鳥居前』	○			
	『二人椀久』				
	『酔菩提悟道野晒 野晒悟助』	○		○	
	『女暫』	○			
	『連獅子』	○			
永楽館	『与話情浮名横櫛』	○			
	『御所桜堀川夜討 弁慶上使』	○			
	『お目見得口上』			○	
八千代座	『神の鳥』	○			
	『お目見得口上』				
	『鏡獅子』			○	
	『藤娘』				

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ 他社演劇公演資料 ■

IHI ステージアROUND東京	9月	劇団☆新感線『メタルマクベスdisc2』プログラム
赤坂区民センター	9月	『みんなで楽しむ伝統芸能Night 歌舞伎』プログラム
あうるすぽっと	10月	花組芝居『天守物語』プログラム
赤坂RED/THEATER	9月	トローチ『咲き誇れ』プログラム
恵比寿・エコ劇場	9月	「日本の劇」戯曲賞2017リーディング公演『空谷の湧水』台本
吉祥寺シアター	9月	オペラシアターこんにゃく座『イヌの仇討あるいは吉良の決断』プログラム
紀伊國屋サザンシアター	9月	ティファクトリー『レディ・オルガの人生』プログラム
青年劇場	9月	『キネマの神様』プログラム、台本
江東区文化センター	9月	『まるわかり はじめての歌舞伎!』プログラム
国立劇場小劇場	9月	『文楽公演』プログラム、床本
国立劇場大劇場	10月	歌舞伎公演『平家女護島』プログラム
国立文楽劇場	9月	『「天の岩戸開き」の芸能』プログラム
		『第二十回記念上方花舞台』プログラム
シアターオーブ	9月	『ミュージカル マイ・フェア・レディ』プログラム
シアターX	10月	『今は昔、かぐやのミッション』プログラム
シアター風姿花伝	10月	パラドックス定数『蛇と天秤』プログラム
シアターサンモール	9月	『舞台かくりよの宿飯』プログラム
		theatre PEOPLE PURPLE『ORANGE』プログラム

(新着資料案内 他社演劇公演資料 続き)

下北沢駅前劇場	10月	ゴジゲン『君が君で君で君を君を君を』プログラム げんこつ団『コースターター』プログラム
下北沢「劇」小劇場	10月	劇団め組『会津藩家老 西郷頼母』プログラム
下北沢小劇場B1	9月	オフィスコッターネ『US/THEM』『踊るよ鳥ト少し短く』プログラム
下北沢小劇場楽園	9月	劇団チョコレートケーキ『ドキュメンタリー』プログラム
神保町花月	10月	はらぺこペンギン!『古書パラレル浪漫譚』プログラム
東京芸術劇場プレイハウス	10月	『ゲゲゲの先生へ』プログラム
東京芸術劇場シアターウエスト	9月	『乙女文楽結成五十周年記念公演』プログラム
俳優座劇場	9月	俳優座劇場プロデュース『十二人の怒れる男たち』プログラム CLIE『おとぎ裁判』プログラム
博多座	10月	『魔界転生』プログラム
ブレヒトの芝居小屋	10月	温泉ドラゴン『THE DARK CITY』プログラム
本多劇場	9月	劇団東京ヴォードヴィルショー『終われない男たち』プログラム 加藤健一事務所『Out of Order イかれてるぜ!』プログラム
明治座	10月	『氷川きよし特別公演』プログラム

■ 演劇雑誌 ■

『Confetti』2018年NOVEMBER	『華風』2018年11月号
『Confettiかわら本』2018年11月号	『喝采』2019年1月,1月特別号,2月
『JPL』No.71	『国立演芸場公演ガイド』平成30年11月号
『TICKETS GO!GO!』Vol.84	『伝統文化新聞』149号
『the座』98号	『日本芸術文化振興会ニュース』平成30年11月号
『あぜくら』2018年10月号	『日本劇場技術者連盟誌』No.7, No.8
『ほうおう』2018年12月号	『日本照明家協会誌』2018年10月号
『シアターガイド』2018年12月号	『日本舞踊』70巻11月号
『テアトロ』2018年11月号	『悲劇喜劇』2018年11月号
『ラ・アルプ』2018年11月号	『邦楽の友』平成30年11月号
『演劇界』2018年12月号	

■ 映画雑誌 ■

『FLIX』2018年12月号	『映画テレビ技術』2018年11月号
『SCREEN』2018年12月号	『映画ビジネス』平成29年6月下旬号,8月上旬号,平成30年3月下旬号,6月上旬号8月下旬号
『おとなのデジタルTVナビ』2018年12月号	『映画芸術』465号
『エキブ・ド・シネマ』No.223	『映画時報』2018年10月号
『キネマ旬報』2018年11月上旬特別号,11月下旬号	『映画秘宝』2018年11月号,12月号
『シナリオ』2018年12月号	『衛星劇場プログラムガイド』2018年11月号
『シナリオ教室』2018年11月号	『月刊ドロキ・ユキコ』39号
『シネビ・エイジ』No.671-674, No.677, No.678, No.680, No.681	『日経エンタテインメント!』2018年11月号
『ドラマ』2018年11月号	『文化通信ジャーナル』2017年7月号,2018年2月号,4月号,5月号,6月号,8月号
『ピクトアップ』2018年12月号	
『ムービー・スター』2018年11月号	

■ 映画資料 ■

○ …… 受入済み

タイトル	プログラム	プレス	ポスター	スチール写真	台本
『マイ・プレシャス・リスト』	○	○	○		
『旅猫リポート』	○	○	○		○

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

(新着資料案内 続き)

■ 映画プログラム ■

『アンダー・ザ・シルバーレイク』	『スモールフット』	『テルマ』
『劇場版 はいからさんが通る 後編 花の東京大ロマン』		『アメリカン・スリープオーバー』
『愛しのアイリーン』	『ザ・プレデター』	『響 HIBIKI』
『アントマン&ワズプ』	『検察側の罪人』	『プーと大人になった僕』
『ペンギン・ハイウェイ』	『マンマ・ミーア! ヒア・ウィー・ゴー』	
『クワイエット・プレイス』	『かごの中の瞳』	『劇場版「フリクリ プロダレ」』
『フィフティ・シェイズ・フリード』	『散り椿』	『あの頃、君を追いかけた』
『ちいさな英雄 カニとタマゴと透明人間』	『バーバラと心の巨人』	『億男』
『音量を上げろタコ! なに歌ってんのか全然わかんねえんだよ!!』		『ルイスと不思議の時計』
『ピッチ・パーフェクト ラストステージ』	『デス・ウィッシュ』	『あのコの、トリコ。』

≫≫ 新規登録資料案内 新しく登録した資料をご案内いたします

■ 書籍 ■

『吉本新喜劇名場面集1959-1989』	吉本興業(編)	データハウス
『放浪記アルバム 林芙美子』		芳賀書店
『黒御簾音楽にみる歌舞伎の近代 囃子付帳を読み解く』	土田牧子(著)	雄山閣
『旧日活 大映村 銀幕の昭和・文化発祥の里』	旧日活・大映村の会(編纂)	編集ラミ
『美人女優戦前篇 水着女優』	石割平(編著)、円尾敏郎(編)	ワイズ出版
『若山富三郎・勝新太郎無頼控 おこりんぼ さびしんぼ』	山城新伍(著)	廣済堂出版
『やくざと芸能と 私の愛した日本人』	なべおさみ(著)	イースト・プレス
『役者ひとすじ 我が人生&交遊録』	工藤堅太郎(著)	風詠社(発行)、星雲社(発売)
『青春 浜田光夫「キューポラのある街」 あれから50年』	浜田光夫(著)	スタート(発行)、展望社(発売)
『母が僕が一番の神様です』	黒沢年雄(著)	夢グループ

資料をご寄贈くださった方々(敬称略・順不同/2018年8月~9月)

※許可を得た方のみ掲載しております

松竹株式会社、松竹ブロードキャスティング株式会社、(株)マルヨンプロダクション「シナリオ」編集部、シナリオ・センター、日本映画テレビ技術協会、博多座、株式会社日本舞踊社、国立劇場、劇団ワンツーワークス、演劇出版社、有限会社合同通信社、東宝株式会社、一般社団法人日本民間放送連盟、文学座、劇団四季、キネマ旬報社、小林智恵子、博物館明治村、古井戸秀夫、御園座演劇図書館、岩波ホール、公益社団法人日本演劇興行協会、国文学研究資料館、デアゴスティーニ・ジャパン、小西正子、園田学園女子大学近松研究所、株式会社カモミール社テアトロ編集部、神戸女子大学古典芸能研究センター、公益社団法人日本照明家協会、明治学院大学、関西・歌舞伎を愛する会、伝統文化新聞、松岡亮、劇団昴、株式会社パルコ、四季株式会社、株式会社ホリプロ、ロングランプランニング株式会社、黒澤明研究会会誌、(株)近代映画社、産経新聞出版、日本映画撮影監督協会、銀座百店会、帝国劇場、銀座 博品館劇場、国立映画アーカイブ、邦楽の友社、おもだか会、日本ウニマ(国際人形劇連盟)、鈴木美智子、日本映画テレビプロデューサー協会、歌舞伎学会、愛知芸術文化センター、シアタークリエ、新歌舞伎座、明治座、若林さだ吉、前進座、公益財団法人 劇場演出空間技術協会、岩下志麻、こまつ座、丸善出版株式会社、日本近代文学館、劇団民藝、一般社団法人長唄協会、倉本財団、玉造小劇店、東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

どうもありがとうございました

第73回所蔵資料展示 「-南座発祥400年-南座新開場記念」展

展示期間：2018年10月26日～12月26日／於 閲覧室

平成30(2018)年の松竹大谷図書館の所蔵資料展示は「-南座発祥400年-南座新開場記念」展で締めくくります。約3年にも及ぶ耐震補強などの大規模改修を経て、11月に新開場を迎えた南座は、22年ぶりに11月・12月2カ月にわたって行われる「顔見世興行」で連日賑わっています。

南座は、出雲の阿国が「歌舞伎おどり」を踊ったとされる京都の四条河原の傍に建つ劇場で、その歴史は400年に及びます。かつて、四条河原の東側には京都所司代板倉勝重が許可した七つの芝居小屋が建ち並んでいました。しかし、幾たびもの大火に見舞われるなどで次々と廃座となり、明治26(1893)年には「七つの櫓」に起源を持つ劇場は、南座だけになりました。

明治39(1906)年11月、白井松次郎、大谷竹次郎の松竹合名会社が買い取り、以後松竹の経営となります。すぐに改築し、12月には初代中村鴈治郎、初代市川右團次(=初代市川齊入)、3代目中村福助(=2代目中村梅玉)、初代實川延二郎(=2代目實川延若)らで松竹直営第1回の顔見世興行を執り行いました。

大正2(1913)年には約5カ月かけて全面的な大改築を行い、定員1436人となります。この改築竣成記念顔見世を機に、それまで関西の俳優のみだった「顔見世」が、2代目市川猿之助(=初代市川猿翁)ら東京の俳優も招いて東西合同で行われました。

昭和3(1928)年12月、御大典記念顔見世を打ち上げ、その後大改築の工事を経て、昭和4(1929)年11月25日、4000名の名士を招待して開場式。桃山時代風の日本建築・破風造りの外観で、全5層地下1階の鉄筋コンクリート建築、定員1527名の大劇場となりました。これまでの劇場とは違い、靴や草履のまま入場でき、

椅子席が設けてあるほか、冷暖房完備
『昭和の南座』による』という近代的な劇場となりました。昭和10(1935)年6月から8月のプログラムには、「京都唯一理想的冷房装置愈々完備 最新優秀の冷凍機七十五馬力二台を新設して、夏なほ寒き涼風を送り場内、休憩室は避暑好適のいごちです」と謳われています。今回の展示でもご紹介している昭和11(1936)年7月に上演された松竹家庭劇のプログラムの表紙にも、温度計のイラストと「場内二十四度」という文字が描かれており、劇場の涼しさが視覚的に伝わるものになっています。



昭和10年8月の新派劇プログラム2種【左】と昭和11年7月の松竹家庭劇プログラム【右】

時代は太平洋戦争へと突入し、昭和19(1944)年3月になると、高級享楽停止令により南座も閉場を余儀なくされましたが、翌4月にはすぐに除外され、映画の封切り場となり、10月には演劇場として再開、12月の顔見世興行も幕を開くことができました。このように「顔見世」は戦中も含め、一度も欠けることなく毎年続けられ、京都の冬の風物詩として、人々に愛され続けてきました。



南座で上演された多岐にわたるジャンルの演劇プログラム

昭和25～28(1950～1953)年には進駐軍に一時接收されていた祇園歌舞練場に代わり、年中行事「都をどり」を南座で上演。この時のご縁で、後に南座が改修で休館した平成2(1990)年の「顔見世」は祇園歌舞練場で行われました。このようにずっと大切に受け継がれてきた「顔見世興行」をはじめとする歌舞伎公演のほかにも、SKDやOSKなどのレビューや、新国劇、松竹新喜劇、新派、松竹家庭劇、女剣劇、ミュージカル、文楽、マジックショーなど、南座では様々な興行が行われ、その懐の深さを感じさせられます。

そして、平成8(1996)年、古くからの伝統を守ってきた南座が「国の登録有形文化財」に登録されました。400年受け継がれてきた伝統を守りながら、進化し続ける劇場「南座」の今後がますます楽しみです。

【展示資料一覧】

《展示ケース外》

『京の顔見世 東西俳優名鑑』
昭和34年12月 *複製(縮小)

《展示ケース上段》●スチール写真(すべて南座の公演より)

『京都南座外観』

昭和3年12月

『双蝶々曲輪日記』

昭和2年12月/南與兵衛(初代中村鴈治郎)

『曾根崎心中』

昭和43年12月/天満屋お初(2代目中村扇雀=4代目坂田藤十郎)、平野屋徳兵衛(2代目中村鴈治郎)

『仮名手本忠臣蔵 七段目 祇園一力茶屋』

昭和54年12月/大星由良之助(13代目片岡仁左衛門)、遊女お軽(2代目中村扇雀=4代目坂田藤十郎)

『義経千本桜 船屋』

昭和53年9月/権太女房小せん(13代目片岡我童=14代目片岡仁左衛門)、いがみの権太(3代目實川延若)、権太伴善太郎(中江一郎)

『伊賀越道中双六 沼津』

昭和52年12月/雲助平作(3代目實川延若)、呉服屋十兵衛(2代目中村鴈治郎)

『加賀見山再岩藤 骨寄せの岩藤』

昭和53年5月/岩藤の亡霊(3代目市川猿之助=2代目市川猿翁)

『根元草摺引』

昭和54年12月/小林の妹舞鶴(2代目片岡秀太郎)、曾我五郎時致(5代目片岡我當)

『桜姫東文章』

昭和57年2月/権助(片岡孝夫=15代目片岡仁左衛門)、桜姫(5代目坂東玉三郎)

『双絵草紙忠臣蔵』(四条南座楽屋の場)

昭和55年5月/2代目市川寿猿、3代目市川猿之助=2代目市川猿翁、2代目澤村六郎

《展示ケース下段》●プログラム・スチール写真・台本(すべて南座の公演より)

『東京松竹少女歌劇[SKD]京都第一回公演』

●プログラム/昭和9年6月

『新国劇 御目見得公演』

●プログラム/昭和7年9月

『松竹家庭劇 御目見得』

●プログラム/昭和11年7月

『松竹創立七拾五周年記念 松竹新喜劇 松竹兄弟両花道』

●プログラム●スチール写真/昭和45年11月/白井松次郎・大谷竹次郎(藤山寛美)

『ANOTHER』

●プログラム●スチール写真/平成5年8月

『近松座歌舞伎公演 No. 15』

●プログラム/平成12年3月

『あらしのよるに』

●台本(準備稿)/平成27年9月

『南座』

●図書/平成25年 松竹株式会社 南座

『昭和の南座 資料編(上)』

●図書/平成4年 松竹株式会社

『南座松竹経営顔見世百年記念史』

●図書/平成18年 松竹株式会社 南座

『京都・南座の記録 やわらかい劇場論』

●図書/平成2年 六耀社



南座の提灯(『南座』の表紙より)



平成30年11月・12月松竹大谷図書館閲覧室内展示の様子

『松竹大谷図書館所蔵 3D 浮世絵 歌舞伎組上燈籠の世界』展 藤沢市藤澤浮世絵館にて開催!

今月 10 日から 12 月 9 日まで、神奈川県辻堂にある藤沢市藤澤浮世絵館において『松竹大谷図書館所蔵 3D 浮世絵 歌舞伎組上燈籠の世界』展が開催されます。

藤沢市藤澤浮世絵館は、平成 28(2016)年に開館した施設で、東海道五十三次の 6 つ目の宿である藤沢宿や、江戸時代からの観光地江の島を描いた浮世絵のコレクションを多数所蔵しています。組上燈籠絵は印刷された風景や芝居の場面を切り抜いて、立体的に組み上げて遊ぶ錦絵(多色刷り浮世絵)ですが、今回は、藤澤浮世絵館所蔵のものと、当館所蔵のものの中から湘南にゆかりのある演目も含めた作品を選び、錦絵としての組上燈籠絵と、それを実際に組上げた完成形を同時に並べて展示し、楽しんでいただこうという企画です。

完成形の製作は湘南工科大学の学生さんたちに夏休み返上で担当していただきました。10 月末、ほぼ完成した組上完成形を拝見しましたが、準備室に組上がった作品群が並んだ様子は、さながら山車がお祭りの巡行を待っているような迫力です。なかには“組上燈籠”の名称の由来でもある、燈籠のように仕立てたものもあります。平成最後の秋を飾る華やかな展覧会にしたいと、浮世絵館の学芸員さんも張り切って、飾り付けに工夫を凝らしておられるようですので、展覧会当日はいっそう華やかなものとなるでしょう。浮世絵の美術館ということで普段は大人の方の来館がほとんどですが、今回は子供から大人まで楽しんでいただける展覧会となるでしょう。

会場は、JR 辻堂駅北口から徒歩 5 分のところにある複合施設ココテラス湘南 7 階にあり、天気良ければ伊豆大島や富士山まで見えるという抜群のロケーションにあります。湘南の風景を眺めながら、組上燈籠絵の世界をお楽しみ下さい。

また、会期中「演劇・映画の専門図書館 松竹大谷図書館の活動と所蔵資料」と題した浮世絵講座が、11 月 23 日(金/祝)に開催されます。当館の主任司書の武藤が解説いたします。お時間がおありの方は是非ご参加くださいませ。なお、事前申込が必要となります。くわしくは以下をご覧ください。

演 題: 「演劇・映画の専門図書館 松竹大谷図書館の活動と所蔵資料」

講 師: 武藤祥子(公益財団法人松竹大谷図書館主任司書)

日にち: 11 月 23 日(金/祝)

時 間: 10:30~11:30

場 所: 藤澤浮世絵館 多目的室

定 員: 50 名(申込み受付順)

参加費: 無料

申込み開始日: 11 月 14 日(水) 10:00

申込みは、藤澤浮世絵館 TEL0466-33-0111、または、FAX0466-30-1817 まで



チラシ表

■開催情報■

『松竹大谷図書館所蔵 3D 浮世絵 歌舞伎組上燈籠の世界』

会 場 : 藤沢市藤澤浮世絵館

会 期 : 2018 年 11 月 10 日 (土) -12 月 9 日 (日)

開館時間: 10:00-19:00 (入館は 18:30 まで)

※: 11 月 18 日 (日) は特別企画のため企画展示コーナーの閲覧は 17:30 まで

休 館 日: 月曜日 (祝日、振替休日の場合は翌平日)

入 館 料: 無料

住 所 : 神奈川県藤沢市辻堂神台二丁目 2 番 2 号 ココテラス湘南 7 階

電 話 : 0466-33-0111 / FAX : 0466-30-1817

H P : <http://fujiisawa-ukiyoekan.net/>

● お知らせ ●

『演劇界』2018年12月号で、当館が所蔵する組上燈籠絵『菅原天神記車引組上ケ五枚続』を紹介していただきました。巻頭の歌舞伎を題材にした浮世絵の名品を紹介する「江戸芝居百景」という連載記事で、歌舞伎の三大名作の一つ『菅原伝授手習鑑』の「車引」の場が描かれた5枚組の大版の「組上燈籠絵」を取り上げていただいております。「車引」の登場人物の横には、それぞれ俳優の名と役名がありますが、実際にはこの配役での上演の記録は残されていません。当時、この組上燈籠絵を買った人は、この夢の配役の舞台を自宅に作り上げ、楽しんだに違いありません。なお、当館向かいの東劇ビル1Fのリプロ銀座店では、『演劇界』とともに「車引」復刻版も販売しております。是非お手にとってご覧くださいませ。



左:組上燈籠絵復刻版「車引」(1,500円)
右:『演劇界』2018年12月号掲載「江戸芝居百景」

■ 休館のお知らせ ■
創立記念日のため
平成30年11月22日(木)は
休館いたします

■ 公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い ■

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。

当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

- 現在ご支援いただいている方々（了承を得た方のみ掲載）
2018（平成30）年10月にご支援いただきました

法人・団体（50音順・敬称略）

株式会社歌舞伎座
歌舞伎座サービス株式会社
歌舞伎座舞台株式会社
勘亭流書道研究会
有限会社合同通信社
松竹株式会社
松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター
松竹音楽出版株式会社
松竹芸能株式会社
株式会社松竹サービスネットワーク
松竹ブロードキャスティング株式会社
株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

どうもありがとうございます



- 利用案内 ●
開館時間
平日午前10時～午後5時
休館日
土曜日、日曜日、祝祭日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期夏期特別整理期間
※その他、臨時休館のある場合は一ヶ月前から館内およびウェブサイトに掲示します。
- 入館料 無料
閲覧 館内閲覧のみ
- 交通案内 ●
東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分
東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分

編集・発行 公益財団法人 松竹大谷図書館

〒104-0045 東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア3階 / Tel 03-5550-1694

公式HP ● <http://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>

公式Facebook ● <https://www.facebook.com/Shochikuotanitoshokan/>